



違法伐採を受けた森の状況を調べる

インドネシアにおける 野生オランウータンの 生息地の回復・再生事業

オランウータンの好む
マリガラの木を倍増させる

50%

村人との協働による
調査活動の実施

5回

活動の全体目標に
対する達成度

60%

課題

オランウータン生息地である熱帯雨林は開発や違法伐採、入植などで荒廃が進んでいる。こうした土地を再びオランウータンの暮らせる森にし、生息地の保全を図りたい。

活動内容

野生オランウータンの長年の研究をもとに、オランウータンが使える森を再生するにはどうしたらよいかを研究者の観点で考えていこうというもの。熱帯雨林の保全は生物多様性の維持のためにも欠かせない課題であり、そこに住むオランウータンをシンボルにこの課題に取り組んでいる。豊富な研究データをもとに実際に彼らが森で好んで食べている樹種を育苗し、荒廃地に植樹することで復元・回復を図ろうという活動。



オランウータンが
食用とする様々な果実の種

今後の課題

現地は大規模な石炭の露天掘りの隣接地であり、経済活動との共存の視点で今後どのように森林を残していくか、国や地方政府、石炭会社などへ幅広く働きかけ、協力を求めている。

成果と工夫した ポイント



成果

対象地である荒廃地、及び森林の状況調査がほぼ完了し(90%)、関係機関と今後の森林再生に関して具体的な土地使用及び管理のあり方に関して協議が進んだ。

工夫

現地の村人との協力関係を深め、熱帯雨林の保全に関して継続的にかかわっていく意識を育てている。